



第58号

大阪市史跡 龍興寺遺跡 雲屯山九島院

発行所

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行者

第二十五世住職 奥田啓知(智證)

平成二十一年三月二十日

阪神なんば線開通

緒形拳さん死去

死ぬまでしつかり生きよ

映画「楳山節考」「鬼畜」など数多くの映画に出演、日本を代表する個性派俳優緒形拳（本名・明伸）あきのぶ）さんが十月五日午後十一時五十三分肝臓ガンのため、妻、子供、孫と親友の津川雅彦さんらにみとられ亡くなりました。

人付き合いが苦手であった緒方拳さんの唯一の親友であり、俳優仲間津川雅彦さんは、ブログでその最後を次のように報告しています。

「五日午後になつて容体が急変し危篤の知らせを受け、病院に駆けつけたところ、ベッドの上のガタ（二人の仲での愛称）は嬉しそうに手を出してくれ、いろいろな話をして、話の最後に『お前身体大事にしるよ！良い映画沢山創ってくれよな！治つたら、うなぎ喰いに行こな、白焼きをな』と冗談を交えて、医者に危篤を宣言されている患者とは思えない、明るい台詞を残して、その4時間後には、歌舞伎役者のように、虚空を睨み付ながら、静かに、静かに、息

を引き取った！実に安らかに、全く苦しむ様子も見せずに、名優らしい！カッコいい！立派な最後だった！俺もあんな死に方したいと、本気で思えた！臨終に間に合い、話が出来てつくづく良かったと思っている！

誠に見事な最後でした。誰しも従容として死にたいと願望を持っています。死に際を見苦しくしたくないと望んでいます。

「お釈迦さまは、生老病死を、この場合の「苦」とは、思うようにならないことを言っています。す。「どうしようもないこと」とを「どうしようもないこと」と分けることが「悟る」ことにほかならないのです。

所詮自分自身、他人にはなれないのです。緒形拳さんが見事な「死にざま」だったからとはいえ、それは「緒形拳の死に方」なのです。

脊椎カリエスのため、三十歳になる前から死ぬまでほとんど病床にあった明治の俳人、正岡子規は、ある日その病床で忽然



と気づいたそうです。

「余は今まで禅宗の所謂悟りといふ事を誤解して居た。悟りといふ事は如何なる場合にも平気で死ぬる事かと思つて居たのは間違ひで、悟りといふ事は如何なる場合にも平気で生きて居る事であった」（病牀六尺）

どんな人間も、死ぬまでは生きています。その生をしつかりと生きる事が大事なのです。しつかり死ぬことなのです。私たちが自分の死を死ぬのです。安らかに死ねばよい。無残な死に方をせねばならないときは、無残に死ねばいいのです。どうか、いそんなものはいいのです。少ないご冥福をお祈りします。緒形拳さん

第十四回修養会(報告)

後水尾法皇ゆかりの地を訪ねる

十一月三日、前日の好天とは変わり曇天でしたが、秋の京都へ行ってきました。本年は、初参加者二名を入れて総計四十五名で、バスの座席にも少し余裕がありました。

午前、臨濟宗妙心寺派の円通寺へ拝観。ここは、後水尾天皇が造営された幡枝離宮の跡に建つお寺です。後水尾天皇といえば、当院のご開山である龍溪禪師に対して、「大

宗正統禪師」の称号を与えたお方で、当院との少なからず繋がりのあるお寺です。比叡山を借景にした見事な庭園をのぞみつつ、方丈さまの解説を賜りました。

その後、黄檗寺院の閑臥庵にむかいました。ここは平成九年(第四回)に訪ねたお寺で、十一年ぶりに美人尼僧のつくる普茶料理をいただきました。おいしい料理に堪能しすぎて、予定よりも一時間近くも出発時間がずれ込んだため残念ながらお買い物の予定を省かざるを得ませんでした。『京都時間』とでも言いましょうか? 時を忘れておいしい味を皆さまと楽しみました。午後、住職は夜のお勤め(お通夜)のため、一足先に帰らせていただきました。十五時、人

気のサントリール京都ビル工場



(副住職記)

すませ、十七時四十五分無事に九島院に戻ってきました。今回の旅行は、ゆつくりと味を楽しめた旅行になったのではないのでしょうか? 来年の行き先は未定ですがまた皆さまと楽しい旅行が出来ますように企画したいと思います。奮ってご参加下さい

永代供養墓 (大亀地藏尊永代供養墓)

お墓を建ててもいずれば無縁になるから、とのお考えの方の相談を受けてできた永代供養合祀墓です。

- 継承者がいなくても安心
- 無縁になる心配がない
- お寺が続く限り供養され
- 永代位牌が位牌堂に祀られ
- 彼岸・お盆には大勢の僧侶で回向され
- ご遺骨は大亀地藏尊の蓮台下で土に帰るよう埋葬され
- 永代供養だけの方も
- 生前に依頼もできる
- 管理料は不要
- 永代志納金一霊三十万円
- 永代位牌は二種類。
- 宗旨・宗派は問いません
- お墓を整理して合祀される方もおられます

◎ 新規境内墓地(西区で当院だけ)も募集しています。お寺までお問い合わせ下さい。



平成二十一年三月二十日 阪神なんば線開通



○坐禅と除夜の鐘

平成十三年の春彼岸に入魂した梵鐘『弘龍の鐘』を使用した大晦日に『坐禅と除夜の鐘を撞く会』を開催して、今年で八年目になります。年々参加者も増えてきました。なにぶん真夜中の事でもあり、近隣の方々に呼びかけをしています。本年も左記のポストのように入魂します。ご近所の方々、是非ご参加下さい！

○盲導犬育成の募金

当院は盲導犬育成の活動に協賛しています。盲導犬クイールで広く知られるようになりましたが、視聴覚障害者の自立と社会参加のため、盲導犬の育成が要請されています。一頭の盲導犬を育てるためには、五百万円かかるといわれています。少しでもたしななればと、当院では龍燈会館の玄関に募金箱を設置しておりますので、ご協力下さい。

十二月三十一日〔大晦日〕

午後十一時 より、坐禅。

十二時四十分より百八つの打鐘。

坐禅と除夜の鐘

“弘龍の鐘”を憶いて、ゆく年を反省し、くる年に誓いを新たにしませんか

参加費無料

九島院

のど自慢

和尚お経に 節を入れ

相合傘句会10/12 句題『のど』で 天位



募金箱は、等身大の盲導犬ラブラドルトリーパーが載ったもの(写真)です。その他、パピーウオーカー(幼犬の里親)・キャリヤチェンジュウオーカー(盲導犬試験で落ちた犬の里親)・リタイヤウオーカー(引退犬の里親)などのボランティアさんも不足しています。是非、ご協力ならびにご理解の上、その活動を吹聴してください。当院には引退犬のプーマ(八歳)がいます。全国に盲導犬の訓練所は九ヶ所ありますが、当院は『日本ライイトハウス行動訓練所』(金剛山の千早赤坂村)に協力しています。

年忌表 (平成21年)

回忌	死亡年	回忌	死亡年
1周忌	平成20年	17回忌	平成5年
3回忌	平成19年	25回忌	昭和60年
7回忌	平成15年	33回忌	昭和52年
13回忌	平成9年	50回忌	昭和35年

※土・日・祝日は他家と重なりご希望に添えません。年忌法要のご予約は早い目に！お寺でもできます。精進落としの料理・酒類などもご準備できます。供花・供物はお施主さまがご持参されるのが一番の功德です。詳細は当院までお問い合わせ下さい。

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで一列車が走ります！

● シロサギ

お寺にはいろいろな方が来られます。先日も、お墓を探しているとかで、六十すぎのゴマ塩坊主頭の男性が来られました。

長男が仏事をしないので三男の自分が仏壇を引き取り、妻の育った九条に家を新築するので、近くに墓所を求めたいとのことでした。宗旨替えしてもよいとのことでお話をうかがいました。平成十四年より市岡商業高校で社会科の教鞭をとっていましたが今春退職されたそうで、小生も同校で現代社を教えたこともあり、当時の先生方の名前を出すと親しげに話を合わし、今春退職したということでした。奥さんが7時に迎えに来るとかで、「どこか時間を潰せるところはないか、和尚の行きつけの居酒屋でもないか」と問われましたが、特にないと答えたところ帰られました。

あまりに調子がよさそうでしたので、不審に思いむかしの同僚に連絡したところ、そのような人物は名簿にもなく、電話をかけたところ、電話番号も使われておらず、住所も存在しませんでした。いったい、何の為に嘘をついたのか合点がいきません。

初対面の男性が来院されご法事を頼まれたが、当日何うとそんなお家がなかったり、葬儀の依頼をその準備の費用を貸してくれと言われたり、以前当院に世話になっていた姑が入院しているので、病気が快癒の祈願回向をしてくれとかで、本堂で回向したところ病院に治療費を支払ったので、豊中堂が池まで帰るタクシー代を貸してくれと言った中年の親娘など、過去何度かその類の方々に来られたました

詐欺師には三種類あるそうで、人を騙し金銭を取り取るシロサギ、異性の心と体を弄ぶアカサギ、人は喰らわずシロサギとアカサギのみを喰らうクロサギがいるとTVで見ました。天網恢恢疎にして漏らさず、お寺さんを騙すシロサギもきつつかクロサギに喰われ天罰が下るものだと思います。



お 知 ら せ

◎のぼり奉納の募集 1旗金2千円

『南無観世音菩薩のぼり』を入れ替えます。1年間境内に掲げます。昨年同様お施主さんを募集いたします。為書きと施主名を墨書します。ご希望の方は寺務所まで、お声をかけてください。

お 願 い

○猫地藏の御堂寄進のお願い

「猫地藏の御堂の寄進」ですが、現在、九名の方より計三万二千円のご喜捨があります。工務店に発注しましたが予算が大幅に足りません。小額でも大勢の方々とご縁を持つことが大事です。愛猫家の方々のご喜捨を引き続きお願いいたします。

編 集 後 記

▼新聞のコラム『消えた！私の年金記録』を読み、今一度、「ねんきん特別便」を見直しました。なんと、コラムと同様に公立学校の教師時代十六年間の記録が抜け落ちていきます。▼「消えた年金記録」。「宙に浮いた年金記録」がなんと五千万件。人ごとでなく、我が身におよんできました。▼おしくもリーグ優勝を逃した阪神タイガースの主砲アニキこと金本知憲さ

んが「覚悟のすすめ」を出版しました▼「『覚悟』それこそがプロとして、もっとも大切なものだ。決意したら、必ず行動に移す。そして、それを継続させる根気があったからこそ、自分がここまでやってこれたと思う」との彼の人生観のひとかけらでも、社会保険庁の職員に飲ませたいものです。▼来る丑年「牛に引かれて善光寺」覚悟をもって精進していきましょう。墓地維持費のご納付をお願いします。墓参の折り、郵便振込でも結構です。

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで一歩列車が走ります！